

ひたちなか市教育委員会会議録

令和3年 第12回 ひたちなか市教育委員会 10月定例会 会議録					
令和3年10月26日(火)		開会 午後4時00分		閉会 午後4時48分	
○場 所	市役所第3分庁舎 防災会議室2				
○出席委員	教育長 野沢 恵子	委 員 石田 厚子	委 員 西野 信弘	委 員 石川 拓也	委 員 朝日 淳子
○欠席委員					
○会議に出席 した構成員	補 職 名			氏 名	出・欠
	教育次長			湯浅 博人	出席
	参事(教育担当)			大内 保広	欠席
	総務課長			一木 宙	出席
	参事兼指導課長			高橋 重樹	出席
	技正兼施設整備課長			澤島 恵一	欠席
	学務課長			根本 光恵	欠席
	青少年課長			川上 篤	欠席
	中央図書館長			大和田 千鶴子	欠席
	総務課係長			二川 和久	出席
○事務局員	総務課主事			山崎 佑太	出席
1 その他	その他(1)	9月定例市議会における教育委員会関係事項について【公開】			
	その他(2)	ひたちなか市立小・中・義務教育学校の2学期制導入について【非公開】			

令和3年第12回ひたちなか市
教育委員会10月定例会会議録

開会 16:00

教育長 (あいさつ、開会の宣言)

その他(1) 9月定例市議会における教育委員会関係事項について

教育次長 9月定例市議会は、令和3年9月2日(木)から9月28日(火)までを会期として行われました。その中で、補正予算を2点計上させていただきました。1つ目に、小学校における指導者用デジタル教科書の購入に係る経費を計上しております。こちらの中学校費につきましては、令和3年度の当初予算で計上済みになります。小学校におけるデジタル教科書の購入につきましては、令和4年度の当初予算にて計上する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が活用できるということで、補正予算で計上をさせていただきました。WEB版とDVD版で計上をしており、WEB版は使用料及び賃借料、DVD版は物品購入費に分かれております。こちらの理由につきましては、出版元によってWEB版を使うのか、DVD版なのかで分かれており、それぞれの教科において、WEB版が出ているものについてはWEB版、DVD版が出ているものはDVD版で計上をしています。義務教育学校についても同様となります。2つ目は、青少年の対策費でございます。今年の1月に開催を予定しておりました成人の集いが新型コロナウイルス感染拡大の影響によって中止となったことから、その代替事業として、令和4年1月8日(土)に「ひたちなか市21歳の集い」を開催する予定です。こちらにつきまして会場警備委託料等59万1千円を計上させていただきました。

2ページ、3ページをご覧ください。一般質問につきましては、今回7名の議員から質問が出ています。まず1人目としまして、北原祐二議員から交通安全対策について、千葉県八街市での死傷事故を受けての質問になります。ひたちなか市通学路交通安全プログラムに基づく定期的な点検の現状と課題について等、3点の問いがありました。2人目に宇田貴子議員から、コロナ感染から市民のいのちを守る取り組みについてということで、内容としては、不織布マスクを子供たちに支給してはどうかという提案がありました。3人目に山田恵子議員からは、中項目で4点ほど質問がございました。1点目はICTを活用した学習指導について、現在の学習状況、問題点、

今後の課題について質問がありました。2点目は、通学路の安全確保についてということで、北原議員と同様に千葉県八街市の事故を受けて、本市が実施した通学路の合同点検の現在の進捗状況について問われています。3点目に防災教育について教育長の見解を伺いたいとの問いでした。4点目に本市の小中学校等における消費者教育についての質問がありました。4人目に海野富男議員からは、大きく分けて2点ほどの問いになります。1つ目にキャリア教育について、ご覧の4点の質問がありました。2つ目にキャリアパスポートについて、こちらも4点の問いがありました。5人目に大内聖仁議員から学童保育についてということで、すべての学童クラブにWi-Fi環境が必要であるとするが、市ではどう考えているのかという質問等、3つの質問が聞かれています。6人目に井坂章議員からは、新型コロナウイルス感染症対策について、中項目で2点ほど質問を受けました。1点目が小中学校の教育現場における状況について、2点目は公立幼稚園の状況についてということで、それぞれ2点ずつ質問を受けております。最後に7人目の鈴木道生議員から、本市教育委員会が取り組む学校現場の働き方改革についてということで、ご覧の3点を聞かれています。この7人からの質問につきましては、その後懸案となった事項はございません。A3判の資料の方に詳しい答弁内容等を記載しておりますのでご確認ください。私からは以上です。

【質疑、意見等】

石川委員 補正予算のデジタル教科書について、これは2019年に国の方で制度化されたかと思うのですが、紙ベースの教科書については全て無償化ですが、デジタル教科書は現在無償化の対象外という状況だと思います。今後の見通しとして、いつ無償化になるのかが見えているのかどうか、また、大きな予算になると思うので、県からの補助等はいただけるのでしょうか。2点お伺いしたいです。

指導課長 まずデジタル教科書について、学習者用と指導者用に分けて説明させていただきます。紙の教科書に代わって子供たちに配る学習者用のデジタル教科書は、今年度から実証実験が始まりまして、国全体の4割程の学校で、1教科のみ研究しております。本市でも約半分の学校に1教科ずつ紙の教科書とともに、デジタル教科書を使わせて子供たちが使用して研究を進めています。学びのこともありますが、健康面等も検討の余地があるということで、来年度まではそれが続くような状態です。今度はその4割の学校から全校に、まずは1教科ということがまだプレイリリースですがでており、もう少しか

かりそうな状況です。そして今回補正で予算を組ませていただいたのが、指導者用のデジタル教科書ということで、以前補正を組ませていただいた電子黒板、大型モニターに大きく映して使用するものです。ただ紙の教科書をデジタルにしただけではなく、先生が電子黒板機能を使って書き込みができることや、音声での読み上げ、グラフを大きく表示する、埋め込まれている資料が動画で動く等を指導者用のデジタル教科書では見せることができるため、補正を組んで購入をさせていただきました。

県の補助については、今のところはないです。学習者用については国の事業なので、1教科だけは無償配布していただいて研究させていただいております。

石川委員 今回の購入費でも2000万円ですから、市で全て負担するとなるとかなり大きな額ですね。

教育次長 今回のものにつきましては、先ほども申し上げたとおり、コロナの交付金が活用できましたので、全額国の交付金を活用させていただいております。

教育長 小学校は3年後から新しい教科書になり、デジタル教科書を使用していく方向で進んでいきます。その時になって先生方が使い方の研修をしているようでは遅いので、この2、3年で先生方がデジタル教科書を使えるようにすることを目標に頑張らせていただいているところです。中学校では既に指導者用を授業でけっこう使っているのですが、小学校ではICTが苦手な先生もいますので、じっくりと広げていきたいと思います。

朝日委員 一般質問の1人目の方からあった、交通安全についてなのですが、学校に近い新興住宅地に新たに住宅がたくさん建っています。そこから通っている子が道路を渡る場所は横断歩道のないところが多く、いつも保護者が横断歩道を渡るところまで見送って学校に行かせているといったことをよく耳にします。そのため、新興住宅地の近く等に関しては、見直しが必要なのかと思います。付けられるのかわからないですが、横断歩道や信号機があると子供たちも安心して渡ることができるのかと思います。低学年の子は飛び出してしまったり、車の速度等で渡れるタイミングがわからなかったりするのです、市内で見直しをして設置ができるといいのかと思います。

教育長 今回の八街の事故を受けまして、全小学校が全ての通学路を見直しし、その吸い上げを行っています。保護者からもご意見を頂いて、学校で解決で

きる所は学校で解決し、できない所については、例えば先程の信号機等ならば警察署にといったように、様々な関係機関とタイアップして実際に見に行っています。そこで助言や指導をいただき、改善を今年行っているところです。

朝日委員　　もしかすると私が見逃しているのかもしれないですが。学校からそういったお手紙や、意見を聞きますといったものが特に無かったので、うちの学校はどうなっているのかなと気になっていました。

教育長　　先ほどお話にあった信号機につきましては、なかなか要望があっても、県の警察の協議等があり難しかったりするので、そういった場合には違った方法を考えながら進めているところです。

教育次長　　少し補足で説明をさせていただきます。北原議員の3点目でも、なかなか危険個所の把握がしきれていないのではないかとといったことで、本市で利用しているホーム&スクールというアプリを利用して、情報収集をしたら良いのではないかといったご提案がありました。それを受けまして、こちらのアプリを開発している会社に検討を依頼しているとの答弁をさせていただきました。その中で新たな機能等を搭載することで、保護者の方から情報をいただき、危険個所をどうするのかを市の通学路交通安全プログラムに基づいて関係機関と協議をしながら進めていく方向で今後検討していくと答弁をさせていただきました。

朝日委員　　学校の教頭先生等から連絡が来て、読んで必要だと感じたなら返信すれば、学校が見てくれるということが分かると、意見を言いやすくなるかと思いました。

教育次長　　ただ、デメリットとしては、交通安全に関係のないことまでいろいろな意見が来てしまうのではないかと懸念されています。それによって学校の負担が増えてしまうことも考えられます。こういったことから、アプリの中でどのように情報を頂くのかを現在学務課で検討させていただいております。

朝日委員　　選択をするボタン等を作り、選択したものに限って意見を言えるといった形にして、問題提起した内容に対する意見にしか返事がもらえないことであればうまくいくかもしれません。

教育次長　　そういったことも踏まえて、検討させていただきます。

西野委員　　一般質問の4番目にあるキャリア教育という言葉について教えてください。

指導課長　　一括りでいうと昔の進路指導等、今はそれも一部分になってはいますが、中学校からの高校進学だけにとどまらず、自分にはどんな適性があるか、将来どんな職業を考えていくか等、勤労教育等を含めたものがキャリア教育といえます。それを卒業年だけでなく、中学1年生さらには小学校から、働くとは何だろうといったことから始まり、それぞれの年齢に応じたものを積み上げていく中で、進路を考えて欲しいということで、職業観、勤労観を含めたものをキャリア教育とし、現在取り組んでいます。

西野委員　　キャリア・パスポートとはなんですか。

指導課長　　こういった教育に関して、今までは各学校で個別に行っていたのですが、国の方で基本の様式を示し、記録をしていくノート等をファイリングして積み重ねていくものを作りました。小学校1年生から中学校3年生まで、また、高校進学後にも小学校から自分がどのように積み重ねてきたのかを振り返れるようにしたファイリング形式のノートをキャリア・パスポートと国が名付け、全国で取り組んでいます。

教育長　　社会に出てから自己実現ができるように、要するに自分が主体となって生きていけるようにするためには、自分にもしっかりと歴史があって今がここにあるのだと思うこと、子供たちの自信や自己肯定感を付けることが必要であろうとのことで、積み重ねてファイリングしていく。例えば私の夢等の作文を書いた物を残しておいて、何年後かに自分はこんなことを思っていたのかと思いだし、自分の歴史を振り返れるようにするものになります。

その他(2)　ひたちなか市立小・中・義務教育学校の2学期制導入について

教育長　　こちらはまだ内部協議の話であることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定によりまして、会議を非公開にしたいと思います。非公開にするときには、討論を行わないでその可否を決定しなければならないとされていますので、この案件を非公開とすることに賛

成の方は挙手をお願いします。

(委員全員が挙手)

教 育 長 全員賛成ですので、非公開といたします。

閉会 16 : 48